

エホバを崇拝するならいっそう幸せになれます

「私たちの神エホバ、あなたは栄光と栄誉と力を受けるのにふさわしい方です」。啓示 4:11

私たちの神エホバ(*), あなたは栄光と栄誉と力を受けるのにふさわしい方です。あなたが全てのものを創造されたからです。全てのものは、あなたのご意志によって存在するようになり、創造されました。

31 番の歌 神と共に歩む

何を学ぶか*エホバは全てのものを創造したので、崇拝を受けるのにふさわしい方です。エホバに崇拝を受け入れていただくためには、エホバの命令に従い、エホバの基準に従って生きる必要があります。この記事では、エホバへの崇拝に含まれる 8 つのことを取り上げます。そうしたことを行うなら、いっそう幸せになれます。

1-2. エホバはどんな崇拝を受け入れてくださいますか。

「崇拝」という言葉を聞くと、どんなことをイメージしますか。夜、寝る前にひざまずいて、エホバに心からの祈りを捧げている兄弟のことを思い浮かべるかもしれません。あるいは、家族で楽しく聖書を勉強している様子かもしれません。

2 どちらの場合も、エホバへの崇拝を行っているとと言えます。では、エホバはその崇拝を受け入れてくださるでしょうか。エホバの目的に沿っていて、愛と敬意から捧げられるものであれば、受け入れてくださいます。私たちはエホバを心から愛していて、エホバが崇拝を受けるのにふさわしい方であることを知っています。それで、エホバへの崇拝のためにできる限りのことを行いたいと思っています。

3. この記事ではどんなことを考えますか。

3 この記事では、エホバが聖書時代に受け入れた崇拝について考えます。また、現代、エホバが受け入れてくださる崇拝の 8 つの面を取り上げ、それぞれの面でさらに成長するために何ができるかも考えます。そして、エホバを崇拝するなら幸せになれるのはなぜかも考えます。

エホバは聖書時代にどんな崇拝を受け入れたか

4. キリスト以前の時代にエホバを崇拝していた人たちは、エホバへの愛と敬意をどのように示しましたか。

4 アベル、ノア、アブラハム、ヨブといった昔の忠実な人たちは、エホバへの愛と敬意を示しました。どのようにでしょうか。エホバに従い、エホバへの信仰を示し、犠牲を捧げることでです。聖書には、彼らがエホバを崇拝するためにどんなことを行うべきだったかについて、詳しく書かれているわけではありません。でも彼らは、エホバをたたえるためにできる限りのことを行い、エホバはその崇拝を受け入れました。後に、エホバはイスラエル人にモーセの律法を与

えました。そこには、エホバに受け入れられる崇拝を行うための具体的な規定が載せられていました。

5. イエスの死と復活の後、エホバに受け入れられる崇拝の仕方はどのように変わりましたか。

5 イエスの死と復活の後、モーセの律法に従うことは、もはや求められなくなりました。（[ロマ 10:4](#) キリストは律法の終着点）クリスチャンは、新しい律法である「[キリストの律法](#)」に従うことになったのです。（[ガラ 6:2](#) 仲間同士、重荷を負い合いましょう。そうすればキリストの律法を実践することになります）彼らはたくさんの規則を覚えてそれを守ることによってではなく、イエスに倣い、イエスの教えに従うことによってそうしました。現代のクリスチャンも同じように、エホバに喜んでいただきたいという気持ちから、ベストを尽くしてキリストに従い、「[爽やかさを感じ](#)」ています。（[マタ 11:29](#) 私と共に働いて、私から学んで(*私の弟子（私から学ぶ人）になって)ください。私は温和で、謙遜だからです。あなたたちは爽やかさを感じるでしょう）

6. この記事を学びながら、どんな点を考えるとよいですか。

6 これから考える、崇拝の8つの面のそれぞれについて、次のように考えてみましょう。「①自分はいくらまでどんな成長を遂げてきただろうか。②さらに努力できる点があるだろうか」。これまでの成長を喜ぶのは良いことですが、さらに努力できる点を気付かせてくれるようエホバに祈るのも、とても大切なことです。

エホバへの崇拝には何が含まれるか

7. 私たちが心からの祈りを捧げる時、エホバはどう感じますか。

7 [エホバに祈ること](#)。聖書は、私たちがエホバに捧げる祈りを、幕屋や後に神殿で捧げられた香に例えています。（[詩 141:2](#) 私の祈りが、あなたに捧げられる香のようになりますように。両手を上げた祈りが、夕方の穀物の捧げ物のようになりますように）その香は、注意深く調合されたもので、その香りはエホバに喜ばれるものでした。同じように、私たちが心からの祈りをエホバに捧げる時、特別な言葉を使わないとしても、それはエホバにとって「喜び」となります。（[格 15:8](#) 悪人の犠牲はエホバにとって忌まわしく、正しい人の祈りは神にとって喜びである。[申 33:10](#) 彼らがヤコブにあなたの法規を、イスラエルにあなたの律法を教えますように。彼らがあなたのために香を捧げ、焼き尽くす捧げ物を祭壇で捧げますように）エホバは、私たちが愛や感謝のこもった祈りを捧げる時、喜んでくださるのです。そして、私たちに自分の心配事や願いや希望を話してほしいとも思っています。ですから、エホバに祈りを捧げる前に、どんなことを話すかについてじっくり考えるようにしましょう。そうすれば、天のお父さんエホバに、できる限り良い「香」を捧げることができます。

8. エホバを賛美するどんな良い機会がありますか。

8 [エホバを賛美すること](#)。①（[詩 34:1](#) 私はいつもエホバを賛美する。賛美の言葉は絶えず私の口にある）エホバの性質や行いの素晴らしさについて語るなら、エホバを賛美できます。賛美の言葉は感謝にあふれた心から生じます。時間を取って、エホバが私たちのためにしてくれた良いことについて

じっくり考えるなら、エホバを賛美する理由をいくらでも見つけることができます。②伝道は、「神に賛美の犠牲を捧げ」ととても良い機会です。そのようにして、「言葉で神を賛美する」ことができます。（ヘブ 13:15 イエスを通して、絶えず神に賛美の犠牲を捧げましょう。神の名を人々に伝えて、言葉(d*唇の実)で神を賛美するのです) エホバに祈る時によく準備するのであれば、伝道で会う人にどんなことを語るかについてもよく準備するのは良いことです。私たちは自分が捧げる「賛美の犠牲」をできる限り良いものにしたいと思っています。それで、聖書の真理について語る時には心から語るようにします。

9. 古代のイスラエル人のように、エホバを崇拝するために集まり合うことからどんな報いを得られますか。あなたはどんな報いを得てきましたか。

9 集會に出席すること。古代のイスラエル人は次のように命じられていました。「年に3回、全ての男性はエホバ神が選ぶ場所で神の前に出るべきです」。（申 16:16 年に3回、全ての男性はエホバ神が選ぶ場所で神の前に出るべきです。無酵母パンの祭り、七週の祭り、仮小屋の祭りの時です。誰も、何も持たずにエホバの前に出てはなりません）そのためには、家や畑を置いて出掛けていく必要がありました。でも、エホバはこう約束していました。「あなたがエホバ神の顔を見に行っている間は、誰もあなたの土地を取ろうとはしない」。（出 34:24 私はあなたの前からさまざまな国民を追い払い、あなたの領土を広くする。年に3回あなたがエホバ神の顔を見に行っている間は、誰もあなたの土地を取ろうとはしない）エホバを心から信頼していたイスラエル人は、年に3回、祭りに参加しました。その結果、素晴らしい報いを得ました。神の律法についての理解を深め、エホバが善い神であることについてじっくり考え、エホバを愛する仲間と励まし合うことができたのです。（申 16:15 7日間、エホバが選ぶ場所で、あなたの神エホバの祭りを祝います。エホバ神が、あなたが収穫する全ての物とあなたが行う全てのことを祝福するからです。あなたはただ喜びます）私たちも犠牲を払って集會に出席するなら、同じように素晴らしい報いを得られます。また、よく考えた短いコメントを準備しておくなら、エホバは大いに喜んでくださいます。

10. 賛美の歌を歌うことが崇拝の大切な一部と言えるのはなぜですか。

10 賛美の歌に加わること。（詩 28:7 エホバは私の力、私の盾。私の心は神に頼る。私は助けられ、心は喜ぶ。歌で神を賛美する）イスラエル人は歌を崇拝の一部として大切にしていました。ダビデ王はレビ族の288人の人に、神殿で歌う割り当てを与えました。（代一 25:1 ダビデと奉仕のグループの長たちは、アサフとヘマンとエドトンの中から、たて琴や弦楽器やシンバルを奏でながら預言する人たちを取り分けた。その奉仕の担当者を以下に挙げる、6-8 これらの人は皆、父の指揮下でシンバルや弦楽器やたて琴を奏でながらエホバの家で歌い、真の神の家で奉仕した。アサフ、エドトン、ヘマンは、王の指揮下にあった。7 これらエホバへの歌の訓練を受けた人たちとその兄弟たちは288人で、皆、熟練していた。8 若い人も年長の人も、初心者も熟練者も、くじを引いて務めを決めた）現代の私たちも賛美の歌を歌うことによってエホバへの愛を表せます。上手に歌えるかどうかは大きな問題ではありません。次のように考えてみましょう。私たちは皆、話す時、「何度も過ちを犯します」。それでも、集會や伝道で話すのをやめたりはしません。（ヤコ 3:2 私たちは皆、何度も過ちを犯し(d*つまずき)ます。言葉で過ちを犯さない(d*つまずかない)人がいれば、

それは完全な人で、体全体を制御できます) そうであれば、**上手に歌うことができないと感じる**としても、エホバに**賛美の歌を歌うのをやめてはいけません**。

11. 詩編 48 編 13 節からすると、時間を取り分けて家族で聖書を勉強する必要があるのはなぜですか。

11 **聖書を学び、エホバについて子供に教えること。**古代のイスラエル人にとって、**安息日は日常の活動を休んでエホバとの絆を深める良い機会**となりました。(出 31:16, 17 **イスラエル人は安息日を守らなければならない。安息日を代々守らなければならない。これはずっと続く契約である。17 これは私とイスラエルの民の間の長く続くしるしである。エホバは6日間、天と地を造り、7日目に休み、爽やかさを感じたからである**) 忠実な人たちはこの機会に、エホバが素晴らしい神であることを子供たちに教えました。現代の私たちも、聖書を読んだり学んだりするために時間を取り分ける必要があります。これは崇拝の一面であり、エホバといっそう親しくなる助けになります。(詩 73:28 **私にとって、神に近づくのは良いことだ。私は、主権者である主エホバのもとに避難した。その方の行い全てを知らせるために**) また、家族と一緒に聖書を勉強するなら、新しい世代である子供たちが愛情深い天のお父さんエホバとの友情を深めるよう助けることができるでしょう。(詩編 48:13 **その土塁(*防備された城壁)に心を留めよ。その防備された塔を調べよ。後の世代に話すために**を読む。)

12. エホバが**幕屋の備品を作ることを聖なる仕事**と見なしていたことから、何を学べますか。

12 **崇拝で用いる建物を建てたりメンテナンスしたりすること。**聖書によると、**幕屋や幕屋の備品を作る**ことは「**聖なる仕事**」でした。(出 36:1 **ベザレルは、オホリアブと技能を持つ全ての人と一緒に働きます。エホバから知恵と理解を与えられた人たちで、聖なる奉仕のさまざまな仕事をエホバが命じた通りに行う方法を知っています、4 聖なる仕事が始まったが、技能を持つ人たちが次々にやって来て**) **現代**でもエホバは、王国会館などの神の**組織が用いる施設の建設を神聖な奉仕**と見なしています。**こうした活動に多くの時間を用いている兄弟姉妹もいます。**私たちは、**王国の活動を支える**こうした兄弟姉妹の**大きな働きに本当に感謝**しているのではないのでしょうか。これらの兄弟姉妹は**伝道活動にも**参加しています。中には、**開拓奉仕を行いたい**と思う人もいます。**長老たち**は、これらの熱心な兄弟姉妹が資格を満たしているなら、ためらうことなく**開拓者に任命**することによって、**建設奉仕を支持**していることを示せます。そして、**私たち全て**は、建設の技術があるかどうかに関わりなく、**清掃やメンテナンスに加わる**ことができます。

13. 王国の活動を支えるために寄付をすることが大切なのはなぜですか。

13 **王国の活動を支えるために寄付をすること。**イスラエル人は、**何も持たずにエホバの前に出てはいけません**でした。(申 16:16 **年に3回、全ての男性はエホバ神が選ぶ場所で神の前に出るべきです。無酵母パンの祭り、七週の祭り、仮小屋の祭りの時です。誰も、何も持たずにエホバの前に出てはなりません**) それぞれの**状況に応じて、捧げ物を持っていく必要**があったのです。そのようにして、エホバがしてくださっている**全ての良いことに対する感謝を表す**ことができました。では、**私たちは**どのようにしてエホバへの愛やエホバがしてくださっている**全ての良いことに対する感謝を示せる**のでしょうか。**1つの方法**は、自分の状況に応じて、**地元の会衆や世界的な活動のために寄付**をすることです。パウロもこう述べています。「**進んで与える気持ちがあるなら、受け入れられます。持って**

いる物を与えればよいのです。持っていない物までは期待されていません」。(コリ二 8:4 彼らは自分から、親切に与える機会を下さいと私たちに懇願し続けました。聖なる人たちのための救援奉仕に加わることを願ったのです、12 進んで与える気持ちがあるなら、受け入れられます。持っている物を与えればよいのです。持っていない物までは期待されていません) 私たちが心を込めて寄付をする時、たとえそれが少額であっても、エホバは高く評価して下さいます。(マル 12:42-44 そこへ、貧しいやもめがやって来て、ごく小額の小さな硬貨 2 枚を入れた。43 イエスは弟子たちを呼び寄せて、こう言った。「はっきり言いますが、この貧しいやもめは、寄付箱にお金を入れたほかの人たち全てよりたくさん入れました。44 皆は余っている中から入れましたが、この女性は乏しい中から自分が持つ全て、生活に必要な全てのものを入れたからです」。コリ二 9:7 一人一人が、嫌々ながらも強いられてでもなく、心に決めた通りに行ってください。神は快く与える人を愛されます)

14. 格言 19 章 17 節によると、私たちが困っている仲間を助ける時、エホバはどう感じますか。

14 困っている仲間を助けること。エホバはイスラエル人に対して、貧しい人に親切にするなら祝福を与える、と約束しました。(申 15:7 あなたの神エホバが与えてくださる土地の町の 1 つで、兄弟の 1 人が貧しくなるなら、その貧しい兄弟に冷淡になったり出し惜しみし(d*手を閉じ)たりしてはなりません、10 兄弟に気前よく与えるべきであり、嫌々与えるべきではありません。このような理由で、あなたの神エホバは、あなたの全ての行いと働きを祝福して下さるのです) 私たちが困っている仲間を助ける時、エホバはそれをご自分に対する贈り物と見て下さいます。(格言 19:17 立場が低い人に親切にする人はエホバに貸しており、神はその行いに報いて(*返し)くださるを読む。)例えば、フィリピのクリスチャンが囚人だったパウロに贈り物をした時、パウロはそれを「神が喜んで受け入れてくださる犠牲」と表現しました。(フィリ 4:18 私は今、必要な物を十分過ぎるほど持っています。皆さんが送ってくれた物をエパフロデトから受け取ったので、満ち足りています。その贈り物は甘い香りのものであり、神が喜んで受け入れてくださる犠牲です)それで、「会衆の中で自分が助けになれる人がいるだろうか」と考えてみましょう。私たちが自分の時間や体力や能力や持っている物を使って、困っている人を助ける時、エホバはそれをご自分に対する崇拝と見て、喜んで下さいます。(ヤコ 1:27 私たちの父である神から見て、清く汚れのない崇拝の型(*宗教)は、困っている孤児ややもめを世話することと、自分を世に汚されないように守ることです)

エホバを崇拝するなら幸せになれる

15. エホバを崇拝するためには時間や努力が必要ですが、そうすることが重荷でないのはなぜですか。

15 エホバを崇拝するためには時間や努力が必要ですが、そうすることは決して重荷ではありません。(ヨハ一 5:3 神を愛するとは、神のおきてを守ることです。神のおきては重荷ではありません)なぜでしょうか。私たちはエホバを愛しているからです。例えで考えてみましょう。幼い子供がお父さんにプレゼントをしようとして、絵を描いています。出来上がるまでに何時間もかかるかもしれませんが、それでも、子供は時間を無駄にしたなどとは決して考えません。お父さんを愛しているので、お父さんにプレゼントができることをうれしく思います。同じように、私たちもエホバを愛しているので、エホバを崇拝するために喜んで時間を費やし、努力を払います。

16. ヘブライ 6 章 10 節によると、エホバはあなたがエホバのためにする努力をどう見ているか。

16 愛情深い親は、どの子供からも同じ贈り物をもらうことを期待したりはしません。子供たちには個性があって、それぞれできることが違う、ということを分かっているからです。同じように、天のお父さんエホバも、私たち一人一人の状況をよく理解してくれています。私たちは、周りの人より多くのことができるかも知れませんが、年齢や健康や家族の責任のために、ほかの人ほど多くのことができないかも知れません。それでも、がっかりしないでください。（ガラ 6:4 一人一人、自分の行いについてよく考えましょう。そうすれば、人と比べて喜ぶのではなく、自分自身のことを喜べます）エホバはあなたの働きを決して忘れたりはしません。正しい動機でできる限りのことを行なうなら、喜んでくださいます。（ヘブライ 6:10 皆さんはこれまでずっと聖なる人たちに仕え、今も仕え続けています。そのようにして、神の名を愛していることを示してきました。神は不公正な方ではないので、そうした働きや愛を忘れたりはありません）そしてエホバは、あなたの心の願いも知っています。あなたがエホバのためにできる限りのことを行って喜びを味わうことを願っているのです。

17. (ア) エホバへの崇拝に関連した活動の中で、苦手に感じるものがある場合、どんなことができますか。(イ) 「いっそう幸せになるために」の囲みにあるどの活動があなたにとって役立ってきましたか。

17 個人研究や野外奉仕などを行うことが苦手だと感じる場合、何ができるでしょうか。(ア) 繰り返し行っていくなら、いっそう楽しくなり、多くのものを得られるでしょう。エホバへの崇拝に関連した活動は、楽器の練習や運動に例えることができます。たまにしか行わないなら、上達することは難しいでしょう。でも、毎日時間を取って取り組むならどうなるでしょうか。初めは、短い時間行うことにするかも知れませんが、だんだんと長い時間行うことができるようになります。そして、上達していることを実感すると、練習の時間がいっそう楽しみになり、もっと頑張ろうという気持ちになります。エホバへの崇拝に関連した活動についても、同じように取り組むことができるでしょうか。

いっそう幸せになるために



現代の私たちがエホバを崇拝するためにできることは、いろいろあります。そうしたことを行っていくなら、いつまでも幸せに暮らすことができます。

18. 私たちが行える最も重要なこととは何ですか。そうするなら、どんな良いことがありますか。

18 自分にできる限りのことを行ってエホバを崇拝することは、私たちが行える最も重要なことです。そうするなら、幸せで充実した生活を送ることができます。また、エホバを永遠にわたって

崇拝するという希望を持つこともできます。（[格 10:22](#) エホバの祝福が人を富ませる。それに痛み(*悲しみ/苦しみ)は伴わない）私たちは、[今でさえ、穏やかな心を持つ](#)ことができます。[問題にぶつかった時にはエホバが助けてくださる](#)、ということを知っているからです。（[イザ 41:9, 10](#) 私はあなたを地の果てから連れ出し、最も遠い所から呼び出した。私は言った。『あなたは私に仕える者である。私はあなたを選んだ。退けてはいない。10 恐れてはいけない。私があなたと共にいる。心配してはいけない。私があなたの神である。私はあなたを強くし、必ず助ける。私の正義の右手であなたをしっかりと支える(*つかんで離さない)』）それで、[愛情深いお父さんエホバを崇拝するなら、私たちは必ず幸せになる](#)ことができます。[エホバは、全ての創造物から「栄光と栄誉.....を受けるのにふさわしい方」](#)なのです。

（[啓 4:11](#) 私たちの神エホバ*、あなたは栄光と栄誉と力を受けるのにふさわしい方です。あなたが全てのものを創造されたからです。全てのものは、あなたのご意志によって存在するようになり、創造されました）

どのように答えますか

I. エホバは聖書時代にどんな崇拝を受け入れましたか。

- ・S04 アベル、ノア、アブラハム、ヨブといった昔の忠実な人たちは、[エホバへの愛と敬意を、エホバに従い、エホバへの信仰を示し、犠牲を捧げる](#)こと、によって示した。彼らは、[エホバをたたえるためにできる限りのこと](#)を行い、エホバは[その崇拝を受け入れました](#)。後に、エホバはイスラエル人に[モーセの律法](#)を与え、そこには、エホバに[受け入れられる崇拝を行うための具体的な規定](#)が載せられていました。
- ・S05 イエスの死と復活の後、モーセの律法に従うことは、もはや求められなくなり、クリスチャンは、[新しい律法である「キリストの律法」に従う](#)ことになった。彼らはたくさんの規則を覚えてそれを守ることによってではなく、[イエスに倣い、イエスの教えに従う](#)ことによってそうした。現代のクリスチャンも同じように、[エホバに喜んでいただきたい](#)という気持ちから、[ベストを尽くしてキリストに従い、「爽やかさを感じ」](#)ています。

II. 現代、エホバへの崇拝には何が含まれますか。

- ・S07 エホバに[祈る](#)こと。
- ・S08 エホバを[賛美する](#)こと。
- ・S09 [集会に出席](#)すること。
- ・S10 [賛美の歌に加わる](#)こと。
- ・S11 聖書を学び、[エホバについて子供に教える](#)こと。
- ・S12 崇拝で用いる建物を[建てたりメンテナンス](#)したりすること。
- ・S13 王国の活動を[支えるために寄付](#)をすること。
- ・S14 [困っている仲間を助ける](#)こと。

III. エホバを崇拝するなら幸せになれるのはなぜですか。

- ・S18 自分にできる限りのことを行って[エホバを崇拝](#)することは、[私たちが行える最も重要なこと](#)です。そうするなら、[幸せで充実した生活を送る](#)ことができます。また、エホバを[永遠にわたって崇拝するという希望](#)を持つこともできます。私たちは、[今でさえ、穏やかな心を持つ](#)ことができます。[問題にぶつかった時にはエホバが助けてくださる](#)、ということを知っているからです。それで、[愛情深いお父さんエホバを崇拝するなら、私たちは必ず幸せになる](#)ことができます。[エホバは、全ての創造物から「栄光と栄誉.....を受けるのにふさわしい方」](#)なのです。